

自治会に加入しましょう

自治会は皆さんの地域を明るく住みよいまちにするため、さまざまな活動を行っています。自治会では皆さんの加入をお待ちしています。お近くの自治会役員にお申し出ください。



交通安全・防犯活動



環境美化活動



防災活動



親睦行事

【問合せ】

区コミュニティ課
☎840・6021 ☎840・6161

中央区コミュニティ協議会 「コミ協」からのお知らせ

●与野地区社会福祉協議会

シルバーシェフクッキングスクール 参加者募集

- 日時▶6月24日(金) 10時～13時30分頃
- 会場▶与野本町コミュニティセンター 調理室 (中央区本町東)
- 対象▶区内在住60歳以上の男性
- 定員▶25人 (応募多数の場合は抽選)
- 費用▶300円 持ち物▶エプロン・三角巾
- 申込み・問合せ▶6月16日(休)までに、電話又はファクスで、住所、氏名、年齢、電話番号を与野地区社会福祉協議会へ☎・☎ 859・5881

メニューは
お楽しみ…

家庭児童相談のご案内

家庭児童相談室では児童に関する様々なご相談に応じています。秘密は厳守しますのでお気軽にご利用ください。なお、電話でも受け付けています。



- 【日時】月～金曜日
9時～17時
- 【場所】区支援課内
- 【問合せ】区支援課
☎840・6063
☎840・6166

家庭ごみの出し方について再確認しましょう

最近、家庭ごみについての苦情や相談が数多く寄せられています。「家庭ごみの出し方マニュアル」をご確認いただき、適正な生活ごみの排出にご協力をお願いします。ごみの出し方等についてお困りの場合は、お気軽にお問い合わせください。

- 【問合せ】西清掃事務所 ☎623・3899 ☎622・9144
区くらし応援室 ☎840・6027 ☎840・6162



児童センターからのお知らせ

与野本町児童センター（中央区本町東）

「パパと一緒に遊ぼうよ！」

- 日時 6月18日(土) 11時～11時40分
- 内容 パパ・ママと楽しくふれあい遊びなど
- 対象 0歳児とその保護者
- 問合せ 与野本町児童センター
☎855・5655 ☎855・5669

向原児童センター（中央区下落合）

「プチタイム」

- 日時 毎日11時30分～11時45分
- 内容 親子のふれあい遊び、体操など
- 対象 未就学児とその保護者
- 問合せ 向原児童センター
☎・☎834・6083



パパ、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に参加も待っています

大戸児童センター（中央区大戸）

「うたいましようあそびましよう」

- 日時 6月29日(水) 10時30分～11時
- 内容 季節の歌の合唱、その月のお誕生会など
※お誕生日のお子さんは、10時20分までにご来館ください。
- 対象 未就学児とその保護者
- 問合せ 大戸児童センター
☎・☎831・9536

※さいたま市社会福祉事業団のホームページ(<http://www.saicity-j.or.jp>)もご覧ください。

6月のうんどう教室 (介護予防事業)

公園の運動遊具などを使用し簡単な運動を行う教室です。タオルや飲み物を持参のうえ、動きやすい服装で、直接会場へお越しください。参加費は無料です。

日程	時間	会場
1日(水)・15日(水)	10:30～12:00	大戸公園
6日(月)・13日(月)・20日(月)	10:00～11:30	与野中央公園
10日(金)	10:00～11:30	八王子公園
13日(月)・27日(月)	14:00～15:30	与野公園

※雨天の場合は、会場変更や中止になる場合があります。

対象 ■ おおむね65歳以上の方
問合せ ■ 区高齢介護課 ☎840・6068 ☎840・6167

第85回 光の庭プロムナード・コンサート 歌とオルガンの旅 ～ イタリアから北へ ～

土曜の午後、光が降りそそぐ会場で、ポジティブ・オルガン(小型のパイプオルガン)の演奏を出演者のお話とともに楽しむコンサート。今回は、オルガンとソプラノのアンサンブルをお贈りします。

【日時】 **6月25日(土)**
14時開演(14時40分終演予定)

【会場】 彩の国さいたま芸術劇場
1階 情報プラザ(中央区上峰)

【出演】 上野静江(オルガン)・森本隆子(ソプラノ)

【曲目】 フレスコバルディ: トッカータ第8番
カッチーニ: アヴェ・マリア ほか

【問合せ】 彩の国さいたま芸術劇場 音楽担当
☎858・5506 ☎858・5515

入場
無料

こんにちは 区長 です

木々の緑も一段と深まり、アジサイの花も見頃の季節を迎えました。この時期は、蒸し暑さや梅雨寒で体調を崩しがちです。健康管理には十分お気をつけください。

その昔の与野町は、大宮宿や浦和宿より大変栄えていました。蔵造の町並みが残る本町通り周辺は、鎌倉時代から大変栄えていましたが、室町時代にはその通り沿いで市が開かれるようになり、この市は六斎市(ろくさいいち=月に6回定期的に開かれる市のこと)と呼ばれ、毎月4と9のつく日(4・9・14・19・24・29日)に開かれていました。そこでは米、粟、稗、大豆、小豆、茶、灰(肥料)、荒物、相物(干した魚)などが売買されていて、現在の荒川の舟運を利用して江戸との交易も活発に行われていました。このような取り引きで、与野町の問屋商人は大きな利益を上げていました。

江戸時代後期(文化～文政期 1804～30)の与野町の家数は304軒。中山道の宿場町浦和宿の208軒、大宮宿の200余軒と比べて家数はかなり多く、当時の地誌に「道の左右軒を連ねたること、宛も都下の町に似たり」とあり、その繁栄ぶりがうかがえます。

明治期に入っても、与野の市場はなお盛んで、荒川の羽根倉

河岸(現桜区大久保地区)を經由して荷車、荷積み馬車で運送される商品物資は、かなりの量に達し、大正時代ころまで大変なにぎわいを見せていました。

このように、本町通りの蔵造住宅前の空き地は、市場が開かれていた場所の名残りで、当時の道幅は、現在よりも左右4、5間くらいずつ広く、欧米の道路に負けないくらい悠々としていました。

来月行われる「与野の夏祭り」は、この本町通りをメインにおみこしが練り歩き、露店が立ち並びにぎやかに行われますが、普段はとても静かな蔵造の街並みですので、天気の良い日に散策してみたいかがでしょうか。

中央区長 大熊 研二



▲4月7日(木)
コミュニティ協議会にて